

## 雑がみの分別ポイント

「雑がみ」は、新聞・雑誌・ダンボール・紙パックと同様に資源物としてリサイクルされる紙類です。しかし、中には雑がみとして出せないものもあります。これらは紙類に混入するとリサイクルに重大な支障をきたすので、ご注意ください。

**代表的なもの**

**出し方**

- ① 紙袋に入れる
- ② 雑がみだけを縛る
- ③ 雑誌と一緒に縛る

▲紙袋にまとめ、ごみ集積所に出す



**雑がみとして出せないもの**  
 感熱紙(レシート・FAX用紙)、においの付いた紙や汚れた紙、カーボン紙、紙コップ、圧着はがきなど

## プラスチック製容器包装類の分別ポイント

下記のプラスチック製容器包装とPETボトルの識別マークが目印です。具体的には、商品や食品の中身を出したり、食べたりして不要になったプラスチック容器、またはそれを包んでいたプラスチック包装のことです。

このマークが目印です

**代表的なもの**

- ペットボトル
- キャップ類
- レジ袋
- お菓子の袋
- トレイ類
- ボトル類



▲弁当の容器は、残り水ですすぎ、汚れを落とす



▲ペットボトルはキャップとラベルを外し、中身を軽くすすぎ、つぶして指定袋に入れる

## 生ごみの減量ポイント

生ごみの減量は「水切り」と「乾燥」がポイントです。調理くず用の入れ物を用意し、ぬらさない工夫をすることや、水切りネットなどで絞ること、天日干しして乾燥させてから捨てるなどが挙げられます。

▲生ごみは水分をよく切り(写真上)、塩を振りかけると(写真下)、腐敗防止や臭い対策になる

## 「ごみの減量・資源化を進めるための3つのポイント」

燃やすごみに雑がみやプラスチック製容器包装類などの資源物が多く混入しています。これらを分別して燃やすごみの排出量を減らすことができます。

# 平成29年4月1日(土)から ごみの収集回数が 変わります



市では、ごみの焼却灰などを市外で最終処分していることと、クリーンセンターの建て替えが迫っていることなどの課題を抱えています。そこで、さらなるごみの減量・資源化を目指し、平成29年4月1日(土)からごみの収集回数と生ごみの減量のポイントについてお知らせします。

削減を実施(左表参照)します。今号では、ごみの収集回数の変更内容及び、燃やすごみに混入している雑がみ・プラスチック製容器包装類の分別と生ごみの減量のポイントについてお知らせします。

☎712-6317 循環型社会推進課

分別区分	現在の収集回数	変更後
① 燃やすごみ	週3回	週2回
② 燃やさないごみ	週1回	週2回
③ 有害ごみ	週1回	変更なし
④ プラスチック製容器包装類	週1回	変更なし
紙類	週1回	変更なし
⑤ 新聞	週1回	変更なし
⑥ 雑誌(雑がみを含む)	週1回	変更なし
⑦ ダンボール	週1回	変更なし
⑧ 紙パック	週1回	変更なし
⑨ 布類	週1回	変更なし
⑩ ジーン	週1回	変更なし
⑪ カン	週1回	変更なし
⑫ 大型ごみ	随時	変更なし

## 収集回数の削減で期待する効果

●ごみの減量・分別促進  
 ごみの排出機会が減ること、ごみの減量・分別の意識が高まることで期待できます。

●収集の効率化  
 収集回数の削減に応じて収集を効率化し、コストを抑えることが期待できます。

### 今後の流れ

平成29年4月1日(土)からの収集回数変更に向け、左記の方法で市民のみなさんに変更内容をお知らせします。なお、地域ごとの具体的な収集曜日は、平成29年1月下旬から全戸に配布するリーフレットでお知らせします。

	平成28年			平成29年			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
説明会(下記参照)							
リーフレット(分別方法・収集曜日)の全戸配布							
ごみ集積所の看板の貼り換え							
広報いちかわへの記事掲載							

市民説明会「ごみの収集回数の削減とごみの減量・分別方法について」  
 事前申し込みは不要です。当日直接会場にお越しください。なお、自治会説明会などは、3月下旬まで随時実施しています。

日程	時間(受け付けは15分前)	会場
10月19日(水)	午後7時～8時30分	行徳公民館
11月20日(日)	午後1時30分～3時	市第4・5委員会室
12月17日(土)	午前10時～11時30分	西部公民館

### 教えて じゅんかんパートナー ごみの分別・減量の極意①

石川 美恵子さん



▲「私の分別をお手本に、小学生の孫も雑がみの分別方法を覚えました」と、石川さん

以前は包装紙を雑誌に挟んで出していたのですが、紙袋に入れて分別してみると予想以上に雑がみの割合が多く驚きました。我が家の場合、紙ごみのうち7～8割は「雑がみ」で、分別して「燃やすごみ」の量が減りました。

また、生ごみは「使い切り」「食べ切り」の工夫をし、キャベツやネギなどの野菜は、買った分を全て刻み、その日に使わない部分は冷凍し、みそ汁の具などにしています。平成29年4月から燃やすごみの収集回数が減りますが、これを機にごみの減量に向けて楽しく工夫したいと思います。

### 教えて じゅんかんパートナー ごみの分別・減量の極意②

内山 要子さん



▲「ダイコンやニンジンの皮できんぴらを作ると食材を使い切ることができるのでおすすめ」と、内山さん

プラスチック製容器包装類の分類は、プラマークが書いてあるので、一目瞭然です。ただし、プラ容器はかさばるので、ペットボトルはつぶしてから、お菓子の袋は小さく折りたたんでから指定袋に入れています。汚れの付いたお弁当の容器などは「燃やすごみでは」と迷うこともありますが、さっさとすいでプラ容器として出しています。

生ごみは新聞紙の上に乗せておくと、新聞紙の吸水作用で水分がなくなり減量できるので、燃やすごみを週に1回しか出さないこともあるんですよ。